

# 第 1 回 可愛・郷野地区小学校統合準備委員会【総務部会】要点筆記

開催日時：平成 26 年 7 月 17 日（木）

午後 7 時 00 分～8 時 50 分

開催場所：安芸高田市クリスタルアージュ 3 階（視聴覚室）

参加状況	<p>■専門部会員（敬称略）</p> <p>◎井上 正樹 可愛小学校区内の振興会代表（専門部会長）</p> <p>○橋詰 建 郷野小学校区内の振興会代表（副部会長）</p> <p>幸川 理 可愛小学校保護者会の代表</p> <p>船津 義隆 可愛小学校保護者会の代表</p> <p>森上 なづ 郷野小学校保護者会の代表</p> <p>松井 智子 郷野小学校保護者会の代表</p> <p>坂田 操 可愛保育園保護者会の代表</p> <p>大田 智香子 入江保育園保護者会の代表</p> <p>飯田 直美 可愛小学校の校長</p> <p>津田 泰成 郷野小学校の校長</p> <p>石本 悟 吉田中学校の教頭</p> <p>■安芸高田市</p> <p>叶丸 一雅 安芸高田市教育委員会教育次長</p> <p>児玉 晃 安芸高田市教育委員会学校教育課長</p> <p>二井岡直文 安芸高田市教育委員会学校教育課主幹</p> <p>土井実貴男 安芸高田市教育委員会教育総務課長</p> <p>柳川 知昭 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係長</p> <p>倉田 英治 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係専門員</p>
傍聴者	8 人
会議次第 及び資料	別添のとおり
会議内容	<p>□概要</p> <p>専門部会長、副部会長の互選の後、協議事項として（1）通学方法について、（2）遠距離通学助成についての 2 件を提案し、質疑応答と意見交換を行った。</p> <p>□協議事項 事務局からの提案内容</p> <p>（1）通学方法</p> <p>① 通学方法は、原則として徒歩、自転車、公共交通機関、スクールバスとする。</p> <p>② 住居から学校までの距離が 3km 以上の者は、公共交通機関又はスクールバスを利用することができる。</p> <p>③ スクールバスの乗降場所は別途検討する。</p> <p>（2）遠距離通学助成</p> <p>① 居から学校までの距離が 3km 以上の者は、遠距離通学助成の対象者とする。</p> <p>② 遠距離通学者のうち、公共交通機関利用者は、定期券の 100%補助とする。</p>

③ 遠距離通学者のうち、スクールバス利用者は保護者負担なしとする。

#### ○通学方法について

##### 意見・要望等

- ・可愛小学校の3km以上の子16人はどうやって通学しているか。
- ・スクールバス利用を3kmとした根拠は何か。
- ・中学校の通学方法について教えてほしい。
- ・郷野小学校の子どもが可愛小学校に通うようになるとき、今までみんな同じように歩いていたのが、路線バスに乗る子、スクールバスに乗る子、徒歩の子が出てくると意識の差が生じる。郷野小学校の子どもがみんな1箇所が集まってそこからバスを出してもらった方が、見守りパトロール隊との連携も取りやすく、よいのではないか。
- ・中馬集落は、同じ集落で3kmを超える児童と超えない児童もあり、そのへんの問題が出てくると思う。
- ・実際、自転車通学しているのは向原小学校と川根小学校か。

##### 事務局から

- ・可愛小学校の3km以上の児童は歩いて通学している。
- ・遠距離通学の距離要件は、適正な学校規模の条件というのが義務教育の関係の法律で決まっており、そのなかで通学距離が小学校にあたっては概ね4km、中学校にあたっては6km以内ということになっている。  
安芸高田市においては低学年の条件を考慮し、少し要件を緩和して小学校で3kmという条件に設定している。
- ・自転車通学は二校のみ。向原小は5年生以上で通学距離が2km以上。

#### ○遠距離通学助成について

##### 意見・要望等

- ・合併10年を機会に遠距離通学の制度を統一する話はどうなったのか。
- ・制度を統一するのであれば、可愛・郷野地区だけでなく、他の地区と一緒に考えないと統一できないのではないか。
- ・美土里小学校の基準はどうか。
- ・3km以下の児童でも保護者がいくらか負担すればバスに乗車できる制度はできないか。

##### 事務局から

- ・今回の通学整理のときに、通学方法と遠距離通学助成について市内統一するよう考えている。
- ・保護者の意見をまとめてもらって、総務部会、準備委員会で確認して、推進本部で決定していくことになる。最終的には議会の承認になるが、必要に応じて6町の代表が集まるということは、これからあるかもしれない。
- ・美土里小の基準は3km。

#### ○安全確保について

##### 意見・要望等

- ・路線バスのバス停は屋根がない箇所があったり、歩道が狭かったり危険な箇所もたくさんあると思うが、そういったところの整備も考えているか。
- ・安全面のことが一番の問題で、多くの子どもを安全に通学させるためにはどういう方法をとるべきかを議論しないといけない。
- ・人の目が行き届かない場所が多くあったり、冬場の霧が濃いなかで、川土手の通学など非常に危険な箇所も多くあると思う。それらを考えると通学の問題は難しい点も多くあると思う。
- ・親としては安全確保が一番。体力作りも大事だけれども、安全確保ができていなければいけないと思う。

#### 事務局から

- ・歩道改良などは国土交通省への要望や陳情ということで考える。

#### 部会長から

- ・距離基準や路線バスとスクールバスでどのような運行にしていくのかということ、自転車と徒歩の複合的な考え方など、最終的に基準を合わせて、市が調整していかないといけないと思う。
- ・今日この場で結論を出すことはないので、改めて総務部会で話し合い、意見交換をしていけばよいと思う。継続審議という形でいきたい。

# 可愛・郷野地区小学校統合準備委員会 第1回【総務部会】次第

日時 平成26年7月17日(木) 19時00分～  
場所 クリスタルアージュ 3階 視聴覚室

## 1. 開 会

## 2. 任命書交付

## 3. 委員紹介・事務局紹介

## 4. 専門部会長、副部会長の互選について

役職	氏名
部会長	
副部会長	

## 5. 協議事項

- (1) 通学方法について
- (2) 遠距離通学助成について

## 6. 事務連絡

・次回開催予定 平成26年 月 日( )

## 7. 閉 会

### 配布資料

- ・可愛・郷野地区小学校統合準備委員会【専門部会】名簿 資料1

	区分	ふりがな 氏名	選出区分	備考
1	可愛地区振興会	いのうえ まさき 井上 正樹	準備委員会の委員	◎
2	郷野地区振興会	はしづめ たけし 橋詰 健	3号 その他市長が必要と認める者	
3	可愛小学校保護者会	こうかわ おさむ 幸川 理	準備委員会の委員	◎
4	可愛小学校保護者会	ふなつ よしたか 船津 義隆	準備委員会の委員	◎
5	郷野小学校保護者会	もりがみ なづ 森上 なづ	準備委員会の委員	◎
6	郷野小学校保護者会	まつい ともこ 松井 智子	準備委員会の委員	◎
7	可愛保育園保護者会	さかた みさお 坂田 操	準備委員会の委員	◎
8	入江保育園保護者会	おおた ちかこ 大田 智香子	準備委員会の委員	◎
9	可愛小学校 校長	いいた なおみ 飯田 直美	準備委員会の委員	◎
10	郷野小学校 校長	つだ やすなり 津田 泰成	準備委員会の委員	◎
11	吉田中学校	いしもと さとる 石本 悟	3号 その他市長が必要と認める者	

注) ◎は統合準備委員と重複

提案書

- 協議項目 第 25 号
  - 協議項目 第 30 号
  - 協議項目 第 31 号
  - 協議項目 第 32 号
- } 通学方法について

平成26年7月17日 提出

協議項目	通学方法について
提案内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学方法は、原則として徒歩、自転車、公共交通機関、スクールバスとする。</li> <li>・住居から学校までの距離が3km以上の者は、公共交通機関又はスクールバスを利用することができる。</li> <li>・スクールバスの乗降場所は別途検討する。</li> </ul>
協議結果	
確認日	平成 年 月 日 第 回 専門部会で確認

協議項目 第 34 号 }  
 協議項目 第 35 号 } 遠距離通学助成について

平成26年7月17日 提出

協議項目	遠距離通学助成について
提案内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居から学校までの距離が3km以上の者は、遠距離通学助成の対象者とする。</li> <li>・遠距離通学者のうち、公共交通機関利用者は、定期券の100%補助とする。</li> <li>・遠距離通学者のうち、スクールバス利用者は保護者負担なしとする。</li> </ul>
協議結果	
確認日	平成 年 月 日 第 回 専門部会で確認